

デジタルでの情報発信を進めていくうえでの課題の一つが、「デジタルに対応できない人をどうするか」ではないでしょうか。

「デジタル化を進めたいけど、『スマホやパソコンを持っていない、使えない』、『持っているけど操作がわからない』という人もいるし…」という声も聞かれます。しかし、苦手だからと留まってしまうと、先には進みません。

今回は、デジタル化を始めることについて考えてみましょう。

高齢者にもスマホなどのデジタル機器が普及してきたとは言うけれど、実際に地域で導入をしようとすると…



上記のような事情がある一方で、回覧板を回すのが負担という声もあります。

はじめから「うちの地域では無理」だと決めつけずに、

デジタル化するメリットを整理し、できるところから始めてみることが大切です！



デジタル化でできること

- ・住民への連絡（回覧板）
- ・役員間の連絡
- ・緊急時の情報発信
- ・アンケートや意見の収集の効率化
- ・データや記録の蓄積



デジタル化のメリット

- ・リアルタイムで発信
- ・同じ内容を何度でも配信可能（使用するツールによる）
- ・写真などをたくさん掲載できる
- ・配布や回覧板を回す手間がなくなり、負担の軽減にもつながる
- ・手元ですぐに確認が可能

デジタル化を進めるにあたっては、**無理をしない、無理強いをしない**ことです。まずは「役員同士のやり取りにデジタルツールを使ってみる」、「デジタルを使い慣れた人を対象にした情報発信方法を使う」など、できること・できる人から始めてみませんか？



どうしてる？紙の回覧板

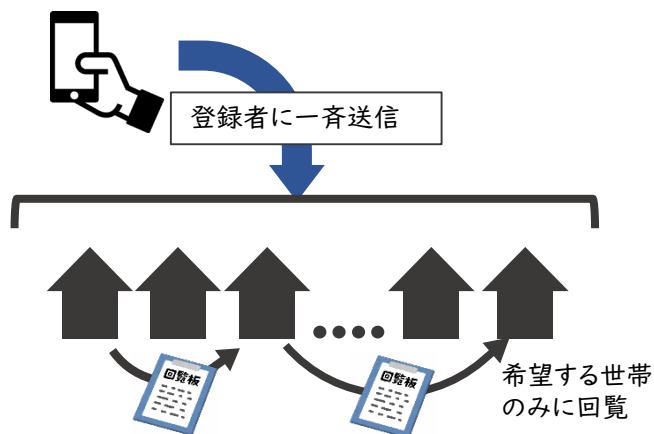
自治会や町内会で電子回覧板を導入する動きが進んでいます。

実際に電子回覧板を始めた町内会は、紙の回覧板への対応をどのようにしているのでしょうか？

今回は2つの町内会の事例をご紹介します。

Case.1 福重3丁目自治会

希望者のみに紙での回覧を継続

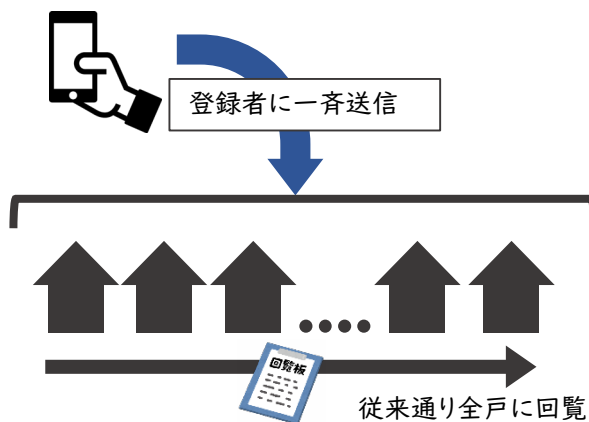


電子回覧板のみでOKという世帯は、回覧板の確認表に斜線を引いてもらい、必要な世帯にのみ回すように変更しました。回す件数は減ってきています。



Case.2 柏原6・7丁目町内会

電子回覧版に加入している方にも紙での回覧を継続



デジタルだけにはしないと割り切り、紙とデジタルを併用しています。最終的に希望者のみにポスティングをすることが目標です。



使えない人へのフォローは？

登録の仕方がわからない、使い方がわからないという方には、フォローが必要です。

地域で集まる場（サロンなど）を利用して操作の説明をすることで、心理的なハードルを下げていく必要があります。

高齢者の中には操作がわからない方もいらっしゃるので、そういう方々にはふれあいサロンでアプリをインストールし、閲覧方法を伝えました。

初めは「難しそう」という心理的ハードルがあるようですが、操作を教えると使えるようになります。やはり最初の抵抗感を取り除くことが大事ですね。



福重3丁目自治会

やり方に正解はありません。情報が届かない、取り残される人が出ないように気を配りながら、それぞれの地域に合った方法を検討していきましょう！



まずは現状把握！住民の声を聞こう！

「回覧板を電子化します！」と言って開始しても、閲覧できるツールを持っていなかったり、使い方がわからないから登録しないという人が多ければせっかく始めた意味がありません。

役員の間で「やってみよう！」と決まったら、まずはアンケート調査をしてみませんか。住民のみなさんの現状や意向を知ること、より効果的な方法を実施することができるようになります。

どういった項目を聞けばいい？

- ・日頃使っている機器
スマホ？ パソコン？ タブレット？
- ・日頃活用しているアプリなど
メール？ LINE？ カメラ？ 動画視聴？
- ・デジタル化してほしい内容
回覧板
緊急時の情報発信
役員間の連絡
- ・興味がある、参加したいもの
使い方講座
体験会
ITサポーター

必要であれば、世代や自由記述欄を追加

アンケートを取りたい！という場合は、お気軽にご相談ください。
アンケートのフォーマット作成など支援いたします。

＼アンケートの回答、集計が簡単にできる！／

Googleフォーム

アンケート用紙や広報紙などに二次元コードを掲載すれば、回答者はスマホで読み取り、質問項目に回答して送信するだけ！

→用紙の紛失や提出に行く手間を省ける

回答を自動でグラフ化してくれるので、集計も簡単！

※フォームの作成にはGoogleアカウントが必要です

事例紹介／

柏原6・7丁目町内会（南区） 約830世帯、人口約1,900人

令和6年6月に町内会のホームページとLINE公式アカウントを開設し、情報発信をしています。

導入の経緯や効果、今後の目標などについて伺ったインタビュー記事が、ふくコミに掲載されています。詳しくは記事をごらんください。

右の二次元コードまたは下記のルートでアクセスできます。

ふくコミ>南区インフォメーション>
【柏原6・7丁目町内会】電子回覧板を導入



柏原6・7丁目町内会ホームページ



↑ 柏原6・7丁目町内会
ホームページはこちら



↑ ふくコミの事例
紹介記事はこちら

「ふくコミ」でも情報発信！

福岡市地域コミュニティサイト「ふくコミ」の西区インフォメーションページでは、自治協議会や自治会・町内会の行事や取組をご紹介します。

地域支援課にご連絡いただければ、取材にも伺います。
地域の方へ取組を知ってもらうために、お役立てください！

記事掲載例

姪浜駅南1丁目自治会 | シニアミーティング@姪浜校区

西区 姪浜校区 姪浜駅南1丁目自治会

2024-09-27

令和6年9月11日（水）に姪浜駅南1丁目自治会の敬老イベント「シニアミーティング」が「MEINOHAMA STEPS（メイノハマステップス）」（姪浜駅南1丁目10番20号）4階gokant（ゴカント）で開催され、約40人が参加しました。



●ようこそ！シニアミーティングへ

この会は70歳以上の方を対象に敬老のお祝い品を配るだけでなく、歓談の場を設けようと、今年オープンした商業施設「MEINOHAMA STEPS」の協力のもと開催されたものです。

当日は、敬老お祝い品の配布や、簡単な問診から身体機能の状態を知るフレイルチェック、プロカメラマンによる写真撮影、喫茶コーナーなどがあり、参加者は思い思いに好きなコーナーを回っていました。

生の松原町内会 | 夕涼み手持ち花火会@下山門校区

西区 下山門校区 生の松原町内会

2024-09-05

8月24日（土）に、生の松原町内会主催で「生の松原町内会夕涼み手持ち花火会」が行われ、会場の芭蕉神社（生の松原1丁目）には子どもから大人まで100人を超える参加者が集まりました。



お知らせ

■小戸3丁目6区自治会 | 敬老会@内浜校区

西区 内浜校区 小戸3丁目6区自治会

2024-09-19

9月8日（日）に小戸3丁目6区自治会（ホワイトバレス姪浜）集会所で、敬老会が開催されました。



■小戸三丁目自治会 | 夏祭り・盆踊り大会@内浜校区

西区 内浜校区 小戸三丁目自治会

2024-08-30

9月17日（土）に小戸南公園で、住民の親睦や融和を目的に小戸三丁目自治会による夏祭り・盆踊り大会が開催されました。

■内浜2丁目2区自治会 | 資源回収&親睦バーベキュー大会@内浜校区

西区 内浜校区 内浜2丁目2区自治会

2024-07-03

令和6年6月30日（日）に内浜2丁目2区自治会と子ども会が共催する資源回収と親睦バーベキュー大会が開催されました。



団体の名称で検索が可能
自分の校区や自治会・町内会の記事
だけを見ることができます

ふくコミに記事を掲載していくことで、活動の記録を蓄積していくことができます。
「Web媒体での発信はすぐには難しい」と思っている自治会・町内会の方、まずはふくコミで情報発信をしてみませんか？

【連絡先】

西区 地域支援課(西区役所3階 55番窓口)

地域広報アドバイザー 藤野ゆかり

電話：092-895-7036

メール：fujino.y10@city.fukuoka.lg.jp

ふくコミ
福岡市地域コミュニティサイト



「ふくコミ」への
アクセスはこちらから！
<https://fukucomi.city.fukuoka.lg.jp/>

